

# 第3次小平市子ども読書活動推進計画

— 子どもが本と出会うために —

【平成30年度進捗状況】

令和元年9月  
小平市教育委員会

# 目次

第1 未就学児に対する取組	
1 継続的な取組	・・・ 1
2 新たな取組	・・・ 5
第2 小学校・中学校・高等学校に対する取組	
1 継続的な取組	・・・ 7
(1) 小・中学校における読書活動の推進	・・・ 7
(2) 図書館における読書活動の推進	・・・ 9
2 新たな取組	・・・ 11
3 その他	・・・ 12

【第3次小平市子ども読書活動推進計画】平成30年度 進捗状況調査報告書

第1 未就学児に対する取組

1 継続的な取組

No.	施策項目	所管課	具体的な取組	平成30年度実績	今後の展開等
1	乳幼児向けの絵本リストの配布 および図書館案内	健康推進課	・3～4 か月児健診時、図書館コーナーの設置	・年間で24回、3～4 か月児健康診査時に行っていた図書館コーナーを廃止し、子どもと保護者に対し、読み聞かせの後で絵本を手渡すブックスタート事業を始めた。受診者1,585人に対し1,546冊の絵本を渡した。絵本とともに、赤ちゃん絵本リスト、図書館案内、図書館利用者登録申込書を配布した。	・子育てに図書館を利用するきっかけづくり、また絵本を活用した子育て促進の場として充実を図っていく。
		図書館	・3～4 か月児健診時、会場に設置された図書館コーナーにて保護者に向けての絵本リスト等の配布	・平成29年度まで行っていた、3～4 か月児健康診査の受診者に対する絵本の読み聞かせ等を廃止し、平成30年4月から、3～4 か月児健康診査終了後に、ボランティアが子どもと保護者に対し読み聞かせをした後で絵本を手渡すブックスタート事業を開始した。	・保護者にも読み聞かせを体験してもらうことで、家庭においても絵本を通じた子どもと保護者とのふれあいの時間を持ってもらう、そのきっかけ作りとしていく。
2	図書館における行事の定期的な開催	図書館	・全館で「おはなし会」、「絵本のへや」を定期的に開催。また、それぞれの地区館で独自のおはなし会を開催	<p>・働いている保護者が多いことや、平日昼間は授業等で図書館に来られない子どもたちが多いことから、定例のおはなし会に加え地区館において日曜日のおはなし会を試行した。従来の平日のおはなし会は子どものみが参加対象であったが、日曜日のおはなし会については保護者も対象とした。</p> <p>・定例のおはなし会【全館】 参加：4歳児から1年生の部：186回（1,339名参加）小学生の部：186回（645名参加）4歳児から小学生の部【仲町図書館のみ】：24回（87名参加）</p> <p>・日曜日のおはなし会（試行） 花小金井図書館（3回）参加：40名（大人14名、子ども26名） 喜平図書館（4回）参加：24名（大人12名、子</p>	<p>・試行の「日曜日のおはなし会」では、平日に来られない子どもたちや保護者に参加してもらうことができた。試行の結果等をふまえて来年度以降の実施を検討する。</p> <p>・「よるのおはなし会」は、毎年盛況であり、今後も内容に工夫しながら継続していく。</p>

				<p>ども 12 名)  上宿図書館 (3 回) 参加 : 24 名 (大人 6 名、子ども 18 名)  大沼図書館 (3 回) 参加 : 17 名 (大人 4 名、子ども 13 名)</p> <p>・「よるのおはなし会」 (夏の季節に合わせた少し怖い内容のおはなし会)  中央図書館 111 名、仲町図書館 96 名、花小金井図書館 52 名、小川西町図書館 53 名、喜平図書館 112 名、上宿図書館 38 名、津田図書館 64 名、大沼図書館 84 名参加</p> <p>・「絵本のへや」 (0 歳児からの子どもと保護者を対象とした絵本の読み聞かせや手遊び、わらべうた等)</p> <p><b>【全館】</b>  参加 : 延べ 96 回 1,485 名の参加</p> <p>・4 月 23 日の「子ども読書の日」に合わせて 4 月 1 日から 5 月 24 日を「こだいら子ども読書月間」とし、全館で絵本の展示やおはなし会等子どもと本を結ぶ行事を開催した。</p> <p>・児童書展示コーナーにおいては、季節に応じた図書の展示を行った。</p>	
3	「家庭教育講座」実施による家庭での読書の推進	公民館	・図書館員を講師とした、子どもの読書に関する内容の講座の実施	・ <b>【津田公民館】</b> 子育て支援講座「絵本を楽しもう」の中で「親子で絵本を楽しむには お気に入りの絵本の見つけ方」実施。受講 : 7 名	・絵本の選び方・楽しみ方を学ぶことで、子どもが絵本に興味を持つきっかけをつくとともに、子どもの成長に絵本とのふれあいが、非常に重要であることを学ぶ機会となった。
		図書館	・公民館主催の「家庭教育講座」の「子どもへの読み聞かせ」に関する講座において、講師として参加	・公民館主催の子育てに関する講座で、図書館職員が絵本に関する講座の講師を務めた。	・子育て中の保護者に役立つ絵本の情報を提供していく。
4	児童館における図書の充実	子育て支援課	<p>・図書コーナーの設置</p> <p>・児童館職員またはボランティアによる「絵本のへや」、「かみしばい」などの定期的な開催</p>	<p>・児童図書の整備については、充実、向上に努めた。平成 30 年度は、花小金井南児童館図書コーナーの環境改善を実施した。</p> <p><b>【花小金井南児童館】</b>  「絵本のへや」11 回、「かみしばい」11 回、「子どもといっしょに楽しむおはなし会」</p> <p><b>【小川町二丁目児童館】</b>  「絵本のへや」12 回</p> <p><b>【小川町一丁目児童館】</b>  「わらべうたとお話の会」30 回、「読み聞かせの会」11 回</p>	・子どもたちに好評なため、子どもたちの希望をもとに、図書の充実を図ったが、担い手であるボランティアの確保が課題となっている。

5	「子ども家庭支援センター事業」との連携	子育て支援課	・「子育てガイド」の発行、図書館行事の掲載	・図書館案内を掲載した「子育てガイド」を8,800部発行し、図書館の、子育て世代の利用者の目に触れる場所に設置した。	・母子手帳配布時・転入手続き（手当等）時や子育て中の保護者の目に触れるよう、各公共施設等に配布したことで、図書館の情報を発信することができた。今後も継続して実施し、情報提供していく。
		図書館	・子育て支援課発行の、子育てに関するガイドブックの受入れ	・図書館情報も掲載した「子育てガイド」を図書館資料として受入れ、子育て関連コーナーや地域資料コーナーの書架に入れた。	・今後も相互協力を行い、それぞれの情報が子育て世代の家庭に届けられるよう努める。
6	幼稚園の図書館見学	図書館	・地域の幼稚園の図書館見学受入れ	・中央図書館：1園 44名	・図書館について、直接子どもたちに伝えられるよい機会となった。
7	保育園における読書活動の推進	保育課	・市内保育園での、日々の絵本の読み聞かせの実施 ・市内全市立保育園での「いとぐるま」（小平市子ども文庫連絡協議会）によるおはなし会の開催 ・市内全市立保育園での食育活動と協働した「絵本に出てくるメニュー」の実施	・保育士が子どもたちに日々読み聞かせを行っている。また、子どもたちが自ら絵本を手にとることができる環境を年齢に応じて整えた。 ・市内全市立保育園で、月1回程度「いとぐるま」による「おはなし会」を幼児クラス中心に行い、「今日の絵本」コーナーなどで保護者に向けて情報発信をした。 ・「絵本に出てくるメニュー」は毎年読書週間の前後に保育課栄養士の発信で行った。	・どの取り組みも、園児や保護者から大変好評であり、子どもたちが絵本とふれあい、内容を身近に感じるよい機会となっているため、引き続き取り組んでいく。
8	幼稚園における読書活動の推進	図書館	・保護者向けの読み聞かせや絵本選びに関する講座の実施 ・図書館見学受入れ	・市内幼稚園の図書館見学を中央図書館で1園受け入れた。館内の見学の他、児童コーナーの絵本の探し方や利用の際の注意点を伝えるなど、子どもたちの今後の図書館利用に役立つような内容を伝えた。 幼稚園の図書館見学受入れ：1園 44名	・図書館見学では、普段は入れない場所に案内するなど、子どもたちの興味を引くものが多く、図書館の面白さを直接伝えることができた。
9	児童文学講演会の開催	図書館	・絵本や児童文学の素晴らしさを伝えるため、大人向けに作家や専門家等の講演会等を開催	・講演会「このよこびをあのこに～子どもの本を作り、手渡すこと～」を、「このあの文庫」主宰の小宮由氏を講師に、小平市子ども文庫連絡協議会との共催で開催した。 参加：43名	・良質な絵本の見分け方のヒントになるような内容の講演会であり、子どものまわりにいる大人に対し絵本選びの大切さについて伝えることができた。
10	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	・視覚に障がいのある子どもや日本語を日常語としない子どもに対する絵本の収集	・活字による読書が困難な子どもたちに向け布の絵本や遊具を活用した行事や展示の開催した。 ・4月の「発達障害啓発週間関連展示」、12月の「障害者週間特別展示」で、様々なハンディキャップサービスに関わる図書館資料やマルチメディアデジタル図書展示と視聴コーナーを設置し、利用対象の子どもやまわりの大人たちに対しPRを行った。同時に、発達障害者啓発週間関連展示では、障がい者支援課と連携し、障がいのある子どもを持つ保護者に	・活字による読書だけでなくそれぞれの子どもに合った様々な読書の形があることを伝えることができた。

				<p>よる支援グッズの展示も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外国語を日常語とする子どもたちに向け、外国語絵本を収集した。また、絵本の言語がわかりやすいよう書架の案内表示の工夫等、コーナーの整備に努めた。</li></ul>	
--	--	--	--	---	--

## 2 新たな取組

	施策項目	所管課	具体的な取組	平成 30 年度実績	今後の展開等
1	おはなし室の開放	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児を持つ保護者が、子どもとともに絵本とふれあいながら図書館で過ごすことができるよう、おすすめの絵本を揃えておはなし室を開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児とその保護者の参加する「絵本のへや」の終了後、おはなし室を開放し、親子で絵本を楽しむ場の提供を行った。</li> <li>・子育て中の保護者に自分自身の読書の時間を確保してもらうため、託児サービス付きで休館日に「図書館親子スペシャルデー」を開催した。場所の開放と共に保護者に対する図書館利用の支援を行った。 (図書館案内、大人向けの読み聞かせの会、おすすめの絵本の紹介、自由時間等)</li> </ul> <p>中央図書館 参加：20名(8家族) (大人9名、/…子ども11名)</p> <p>小川西町図書館 参加：27名(12家族) (大人12名、子ども15名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた日程のみの利用だけでなく、普段の図書館の利用も気兼ねなくしてもらうために周りの利用者に理解を求めて行う「乳幼児タイム」実施の検討をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはなし室の開放」の利用者は、「絵本のへや」参加の親子が大半であるため、今後は、おはなし室に限定せずに子どもを連れて気軽に図書館が利用できるような方法を検討していく。</li> <li>・4年目になる「図書館 親子スペシャルデー」は、平成29年度に続き2館で開催したが、託児サービス付きで保護者自身の読書の時間がとれることから大変好評である。今後、開催館を増やすことができるよう検討していく。</li> </ul>
2	来館できない子どもと保護者へのサービス	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事開催日の検討 働く保護者のいる子ども等、平日昼間の来館が困難な利用者のため、土日・祝日等、日程を幅広く設定</li> <li>・地域への出張サービス(アウトリーチ) 事情により外出や図書館利用が困難な子どものいる施設等に図書館員が出向き、おはなし会等のサービスができるよう検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日昼間の来館が困難な親子向けに、小川西町図書館では、土曜日に親子で参加できるおはなし会を開催した。参加：16名</li> <li>・「こだいら子ども読書月間」において、中央図書館、上宿図書館で「土曜日の『絵本のへや』」(参加：中央17名、上宿13名)、喜平図書館で「きへいとしょかん親子で楽しむおはなし会」(参加：9名)、小川西町図書館で「あかちゃんと図書館デビュー～あかちゃんと一緒に絵本を楽しみませんか～」(参加：18名)を開催した。</li> <li>・現在平日のみ開催している定例のおはなし会を、複数の地区館で、試行として日曜日に開催した。</li> <li>・保育園や福祉施設でのおはなし会など出張先について検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日は子どもと一緒に図書館の利用ができない働く保護者からは、土日の行事開催について、満足した声が多かった。</li> <li>・日曜日に試行したおはなし会は、今後参加が見込まれる館については本格実施の準備を行っていく。</li> </ul>
3	リサイクル本の提供	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル本を、市内の保育園等に提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全公立保育園に対し、92冊提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の要望に応えるとともに、リサイクル本の有効活用ができた。</li> </ul>

4	広報の工夫	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館行事や子どものおすすめ本、図書館案内等の情報について、関係各課を通じて各施設等への協力を求め、地域により情報入手に差が出ないような効果的な広報活動を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが常にいる場所である学校にチラシやポスターの掲示協力を求め、情報が確実に届くように努めた。また、HPを、子どもの関心を引くデザインにリニューアルした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自身より保護者への広報が効果的な場合もあるため、保護者に向けた情報提供の仕方も引き続き検討していく。</li> </ul>
---	-------	-----	--	--	--



## 第2 小学校・中学校・高等学校に対する取組

### 1 継続的な取組

#### (1) 小・中学校における読書活動の推進

	施策項目	所管課	具体的な取組	平成30年度実績	今後の展開等
1	学校図書館活用年間計画の作成と実施	指導課・学校	・各校の実態に即した読書活動推進に関わる計画を作成し、図書館利用の促進、読書時間の確保等の実施	・全ての小・中学校で読書活動に関わる全体計画及び年間指導計画を作成した。 ・各教科等の授業において、学校図書館の利用の促進と読書活動の時間の確保を行った。	・全体計画と年間指導計画の内容について適切な実施を継続して行う。 ・各教科等の授業において、年間指導計画に沿った学校図書館の活用と読書活動の時間の確保について、継続して行う。
2	学習情報センター機能の充実	学校(指導課)	・子どもの問題解決のための、学校図書館における学習情報センター機能の充実	・学校図書館司書教諭等連絡協議会において、学校図書館の機能の理解・啓発を継続して行った。	・学習情報センター機能の充実を図るため、今後も継続して行う。
3	学校図書館システムの整備	学務課	・学校図書館システムの整備 ・情報資源にアクセスできる環境の整備	・貸出、返却、蔵書点検などを行えるシステムの整備をし、システムを活用して図書の貸出等を行った。 ・「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務を行った。	・引き続き「学校図書館システムマニュアル」を活用して児童・生徒の登録などの各種業務や学校図書館での貸出等を行っていく。
		図書館	・学校図書館システムの環境整備と、活用のための支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員によりシステム操作関連の相談等を行った。	・問題発生時には、関係各所管課が速やかに対応できるよう連携を強化する必要がある。
4	市立図書館資料の活用	学校(指導課)	・図書館の調べ学習用図書の貸出(特別団体貸出)、学期ごとの学級文庫用の図書貸出(団体貸出)とその配送サービスの活用	・図書館が所蔵する資料等を借用し、調べ学習等の授業において活用した。	・今後も活用していく。 ・今後とも調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じていく。
		図書館		・調べ学習用図書の貸出： 小学校 16,859冊 中学校 912冊 ・学級文庫への貸出： 小・中学校 17校 11,180冊	
5	図書の購入方針・廃棄基準の整備	学務課・学校	・学校ごとの購入方針 ・廃棄基準整備、蔵書の整備	・国基準の達成に向けて、各学校の蔵書率に応じて予算を令達した。 ・国基準の達成に向けて学校ごとに計画的に図書を購入するとともに、廃棄基準については全国学校図書館協議会で作成している『廃棄基準』をもとに各学校に基準の整備を働きかけた。	・今後も継続して行い、学校図書の充実に努める。
6	司書教諭の資質向上	指導課・学校	・各学校との情報交換及び司書教諭の指導力の向上	・年2回、学校図書館司書教諭等連絡協議会を実施し、学校図書館協力員とも連携して取り組んだ。	・年2回の連絡協議会において、他校や他自治体の取組を参考にして自校の取組を改善するな

					ど、司書教諭の資質は向上した。今後も継続して行い、学校図書の実をを図る。
7	啓発・広報の充実	指導課・学校	・読書週間の活用、図書館だよりの発行等	・各学校では、年度当初や読書旬間に図書館だよりを発行した。	・今後も、読書に関心を深めるような広報を継続して実施する。
8	児童・生徒の主体的な読書活動の充実	指導課・学校	・児童・生徒自身による主体的な読書活動の活発化	・小・中連携教育のこだいら共通プログラムの学力の取組として、読書習慣の定着のみならず、言語活動を一層充実させた取組として、発信する力の育成を図るために「ビブリオバトル」を行った学校もあった。	・今後も、図書委員会による読書集会、おすすめ本の紹介ポスターづくり等につなげる。
9	放課後子ども教室における読書活動の推進	地域学習支援課	・放課後子ども教室における、紙芝居、読み聞かせ等の実施	・市内小学校全校で実施している放課後子ども教室において、紙芝居・読み聞かせ等の教室を12校で開催した。	・今後も放課後子ども教室の事業継続を図り、子どもの読書活動につなげていく。
10	学童クラブにおける図書の充実	子育て支援課	・図書館からの定期的な貸出等による図書コーナーの充実	・学童クラブに新たに777冊（うちマンガ本525冊）を購入し、充実に努めた。	・今後も図書コーナーの充実に継続実施する。
11	特別な支援を必要とする子どもへの読書活動の支援	指導課・学校	・特別支援学級に在籍する子どもへの読書環境の整備、個々の障がいに応じた読書推進プログラムの開発と実施	・個別の実態に応じた図書を、図書館と連携して準備・活用した。	・今後も図書館と連携し、充実に努める。
		図書館		・「発達障害啓発週間関連展示」や「障害者週間特別展示」で、マルチメディアデージー図書の視聴コーナーやマルチメディアデージー教科書の紹介、LLブックの展示など通常の活字を読むことが困難な子どもに対して様々な形態の資料を紹介した。	・今後も支援を必要としている子どもたちに情報が届くよう努める。

(2) 図書館における読書活動の推進

	施策項目	所管課	具体的な取組	平成 30 年度実績	今後の展開等
1	小・中学校における学校図書館システムの活用支援	図書館	・学校図書館における貸出・返却、蔵書管理等を行うためのシステム操作に関わる支援	・学校連携推進館である仲町図書館に配置されている学校図書館相談員がシステム操作関連の相談業務等を行った。 ・蔵書点検を実施する学校に対しては、職員等が出向いて支援を行った。	・今後もシステムが円滑に活用されるよう継続して支援を行う。
2	小・中学校向けの「夏休みおすすめ本リスト」の作成・全校配布	図書館	・図書館職員が選んだ、夏休みに子どもたちに読んでほしい本の紹介リストを作成し、市内小・中学校に配布。また、夏休み期間に全館でおすすめ本とリストを別置	・小学校低学年、中学年、高学年用に各 18 冊、中学生用に 18 冊を紹介したリストを公立小・中学校の子どもたち全員に配布するとともに、図書館に別置コーナーを設けた。 別置冊数：小学生 2,548 冊、中学生 389 冊	・今後も楽しく読める良質な本を紹介していく。
3	小学生から高校生向けの参加型図書館行事の開催	図書館	・図書館を使いこなし、利用を楽しんでもらうために高校生以上に向け企画した「大人のための図書館探検ツアー」、図書館の裏方の仕事をしてもらう「バックヤード体験講座」等の開催	・「高校生の『図書館バックヤード体験講座』」参加：5 名	・今後もこの世代の関心をひくような内容の行事について検討し、継続していく。
4	小・中学校に向けた調べ学習用図書の貸出（特別団体貸出）と配送サービス	図書館	・授業で使用する調べ学習用図書について、テーマに沿った図書の選本と貸出、また、その配送・集配サービスの実施	・調べ学習図書の貸出： 小学校 16,859 冊 中学校 912 冊 ・学級文庫への貸出： 小・中学校 17 校 11,180 冊	・今後も調べ学習用図書の充実を図っていくとともに、授業に役立つよう学校からの依頼に応じていく。
5	小・中学校に対する学校図書館協力員の配置・研修	図書館	・市内全小・中学校に学校図書館協力員を継続して配置し、図書館職員による研修を実施	・学校図書館協力員に対し、年に 6 回、図書館職員による情報交換会を含めた研修を実施し、学校図書館システム操作、資料紹介、レファレンス演習等について学習した。	・その年の状況に合わせ、また各学校における課題に応じられるような研修内容を取り入れていく。
6	読み聞かせに関する講座の実施	地域学習支援課	・「小平地域教育サポート・ネット事業」における学校支援ボランティア対象の研修等にて図書館員を講師とした講座等を実施	・学校図書館ボランティアの養成等を目的とする講座を、15 校で 21 講座実施した。また、学校図書館ボランティアの研修・交流会を 2 回開催し、スキルアップや情報交換の機会とした。	・今後も継続を図り、子どもの読書環境の充実につなげていく。
		公民館	・子どもの読書に関わる講座を実施	・【津田公民館】 子育て支援講座「絵本を楽しもう」の中で「親子で絵本を楽しむには お気に入りの絵本の見つけ方」実施。受講：7 名	・絵本をテーマに子どもの感受性や創造性を豊かにし、親子のコミュニケーションを図る機会の創出に努める。
		図書館	・図書館員を講師とした読み聞かせの講座や絵本の紹介等	・学校や地域で子どもたちに読み聞かせの機会のあるボランティア等を対象に「絵本の読み聞かせ実践講座」を開催した。 全 2 回 参加：延べ 25 名	・読み聞かせの実践の他、絵本に関する歴史等、予備知識的な講義も交え、充実した内容となっており、毎年好評な講座として継続する。

7	中学生の職場体験、大学生のインターンシップや実習生の受入れ	学校・図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の様々な業務を体験してもらう中学生の職場体験の受入れ</li> <li>・司書資格修得を目指す大学生の実習等の受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験として市内中学校延べ 18 校 52 名、高校生の校外活動として市内高校 1 名、大学生のインターンシップ 2 名を受け入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もキャリア教育の一環として、さらに図書館サービスへの理解を深める機会を提供するため、受入れを行う。</li> </ul>
8	市内小・中学校におけるブックトークの実施	学校・図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの依頼により、図書館職員が授業や全校集会においてブックトークを実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校延べ 11 校からの依頼により、図書館職員が各学校に出向き、それぞれの授業のテーマにあったブックトークを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館に依頼を行わなくても対応できるよう学校に対するブックトーク等の研修を検討していく。</li> </ul>
9	小平市子ども文庫連絡協議会への支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子どもの読書活動推進のための活動を行う小平市子ども文庫連絡協議会に対する、補助金交付や活動場所の提供等による支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金交付、協議会単独の活動場所の提供だけでなく、講演会、講座の開催について、図書館と共催で実施することにより会場提供等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会による図書館行事への協力など、今後も相互協力していく。</li> </ul>

## 2 新たな取組

	施策項目	所管課	具体的な取組	平成 30 年度実績	今後の展開等
1	学校図書館対象の講座・研修の開催	図書館	・学校側におけるブックトークや読み聞かせ等の実施のための、学校図書館協力員・司書教諭等を対象とした講座や研修の開催	・年4回、学校図書館協力員に対して、ブックトークや読み聞かせの研修を行った。	・現場での実践につなげていけるよう研修を継続していく。
2	新仲町公民館・図書館[なかまちテラス]における学校連携事業	学校・図書館	・「学校連携推進館」と位置付けられている「なかまちテラス」における、学校図書館との連携推進事業機能の充実	・公民館企画事業として「なかまちテラスティーンズ委員会」を募集し、図書館のティーンズコーナーに展示をしたり、大賞作品の選定などの活動を行った。	・公民館・図書館・学校・地域が連携した活動として継続する。
3	小学校入学時における図書館案内	学校・図書館	・すべての新1年生に対して、入学時に学校を通じた子ども用図書館案内を配布	・夏休みおすすめ本リスト配布時に、1年生に対して利用登録申込書を配布した。	・すべての子どもたちにもれなく情報が届けられるよう学校と連携していく。
4	レファレンスの充実	図書館	・子どもたちの調べ学習に役立つようなレファレンス回答例や本の調べ方の例などを各館で共有	・子どもたちの調べ学習に役立つよう、図書館のホームページの子どもページ内に「図書館で調べよう」「調べたことをまとめよう」の2つのパスファインダーを掲載したり、夏休み期間に発行される市報に紹介したりした。	・子どもの図書館活用の支援となるよう継続的に実施していく。
5	情報リテラシーの支援	図書館	・中学生、高校生等が求める資料、情報を的確に提供するため、レファレンスサービスの充実とともに情報活用の支援を実施	・「高校生の『バックヤード体験講座』」の中で、中央図書館の参考資料を活用して問題解決を行うレファレンス体験を取り入れた。	・中学生・高校生が必要としている情報の把握に努め、それに合った情報活用について支援できるように努めていく。
6	中学生・高校生に向けた取組の充実	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生以上を対象とした事業実施の検討</li> <li>・市内の都立高等学校との連携</li> <li>・高校生対象の図書館行事開催</li> <li>・ティーンズコーナーの充実 別置・展示の工夫 中学生・高校生によるティーンズ向け図書 の選書 中学生・高校生によるPOPの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生以上の子どもたちに関心の高い内容を検証した。</li> <li>・第4次小平市子ども読書活動推進計画の策定に伴い、市内の都立高校にアンケート調査を行い、高校生の読書環境の現状を確認した。</li> <li>・市内の都立高校に訪問した際に高校生から要望のあった参加型の行事「高校生の『図書館バックヤード体験講座』」を開催した。参加：5名</li> <li>・中央図書館内のレイアウト変更に伴い、ティーンズコーナーも拡充した。学習スペースを増やし、中学生・高校生が入りやすい雰囲気作りと同時に、部活や仕事等、この世代が関心を持つ分類の資料については一か所にまとめ、さらに、テーマ展示のコーナーを広くとって目立つようなレイアウトにした。</li> <li>・中学生の「職場体験」の中で、図書館職員指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生のときにおはなし会に参加していた子どもが、中学生になってからも継続して図書館を楽しめるような事業を検討していく。</li> <li>・高校生へのアンケート結果を参考に高校生が興味を持つような行事等を検討していく。</li> <li>・「高校生の『図書館バックヤード体験講座』」は、図書の排架・整架、図書の修理、行事会場の設営、レファレンス対応等の図書館業務の体験だけでなく、施設管理や図書館システム運営等、職業としての観点から図書館の様々な仕事を紹介した。夏休み期間、学校から職業体験の課題が出たため参加した、という子どもがいたことから、学校の夏休みの課題を調査し、高校生が参加しやすいよう内容の検討をしていく。</li> </ul>

				のもと自分たちの好きな本の POP を作成してもらい、ティーンズコーナーに対象の本と一緒に展示した。展示場所については、コーナーを利用しなくても目に入りやすいよう通路に向けた書架を専用スペースにした。	
7	特別な支援を必要とする子どもへの支援	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の図書の利用が困難な子どもに向けた図書を収集し、読書支援を実施</li> <li>・障がい等により図書館に来館できない子どもに対しては、施設等に出向いておはなし会を開催するなどの地域への出張サービス（アウトリーチ）を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害啓発週間の時期に合わせ、様々なハンディキャップサービスに関わる図書館資料を展示したり子ども向けの絵本のマルチメディアデジタル図書を視聴できるようなコーナーを設置するとともに、障がい者支援課と連携して、障がいのある子どもをもつ保護者による支援グッズの展示を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の図書を紹介することにより活字の読書が困難な子どもたちが自分に合った読書方法を知る機会を作り、読書支援を行う。</li> </ul>
8	ホームページの充実	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けのホームページの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム入替えに伴い、ホームページの変更を行った。子ども向けホームページは、子どもの興味をひくようなデザインやイラストを使用しただけでなく、大人に向けた項目やティーンズ向けのページも開設した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児・児童、ティーンズ等、世代ごとにページを新設し、内容の工夫も行った。今後も頻繁に更新をし、常に利用できるよう努めていく。</li> </ul>

### 3 その他

	施策項目	所管課	具体的な取組	平成 30 年度実績	今後の展開等
1	啓発・広報	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども読書の日」等における啓発事業の実施</li> <li>・図書館行事の広報</li> <li>・小学校・中学校・高等学校を通じたPR</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23日の「子ども読書の日」に因んで4月1日から5月24日までを「こだいら子ども読書月間」とし、全館で「前年度のおはなし会で読み聞かせをした絵本」の展示を行った他、各館で布の遊具・絵本の展示やおはなし会等を開催した。</li> <li>・図書館内だけでなく学校や保育園等にもチラシやポスター掲示を依頼するなど、子どもたちのいる様々な施設に対し、広報の協力を依頼した。</li> <li>・小学校・中学校については、司書教諭等連絡協議会において年度初めに年間の図書館行事のPRを行ったり、学校の掲示板にポスターの掲示を依頼するなど学校側に協力を依頼した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「こだいら子ども読書月間」は、全館における取組みとしていることから、市内幅広く絵本のおもしろさを伝えることができた。</li> <li>・広報については、ただ掲示するだけでなく、子どもたちの目に触れるような工夫が必要である。小・中学生に対しては、保護者に向けたPRのほうが効果的と考えられ、学校や保育園、幼稚園等を通じて情報提供していく。</li> <li>・高校生に対しては、学校における掲示だけでなく同世代の居場所をよく研究して情報が届けられるよう工夫する必要がある。</li> </ul>
2	計画の推進と評価	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課による、それぞれの分野における子どもの読書活動の推進事業の実施、読書環境の整備・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課が委員として構成される「小平市子ども読書活動推進計画検討委員会」を開催した。委員会では、進捗状況の点検・評価を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの分野における状況把握ができた。</li> </ul>

第 3 次 小 平 市 子 ども 読 書 活 動 推 進 計 画  
【平成 30 年 度 進 捗 状 況】

発 行 令和元年 9 月  
編集・発行 小平市中央図書館  
小平市小川町 2 丁目 1325 番地  
電話 042 - 345 - 1246 (代表)  
電子メール tosyokan@city.kodaira.lg.jp